

タイトル：当院における消化管穿孔例を対象とした研究(後ろ向き臨床研究)

#### この研究の目的及び意義

近年の新生児医療の進歩に伴い低出生体重児や先天性心疾患児の消化管穿孔が増加しています。その主な原因としては新生児壊死性腸炎や限局性腸穿孔です。今回、当院で治療した消化管穿孔例について検討し、患児背景との関連や合併症等を比較検討することで、今後の治療方針と合併症の予防に役立てる目的があります。

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の審査を経て承認を得ています。ご理解とご協力をお願いしたいと思います。

#### この研究の対象および方法について

この研究は、東邦大学医学部倫理委員会の承認を得て実施するものです。2010年9月から2019年3月の期間に入院中であった経過をもとに後方視的に研究致しますので、追加の検査や試料採取等はございません。そのため不利益となる健康被害等のリスクはございません。

また、この研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、特段のご事情によりまして研究に利用することを承諾されない方は、下記連絡先まで Fax、e-mail 又は郵送にてご連絡下さい。

#### 15. 連絡先および担当者

東邦大学医療センター大森病院/小児外科

住所：143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1

運営責任者：黒岩 実

Fax：03-3762-4151

E-mail：mkuro@med.toho-u.ac.jp

東邦大学医療センター大森病院/小児外科

住所：143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1

研究責任者：小棚 地洋

Fax：03-3762-4151

E-mail：chihiro.onagi@med.toho-u.ac.jp

(お問い合わせは、Fax、e-mail 又は郵送でお願いいたします)